

医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	<p>●研究の名称 麻酔薬による抜管時記憶への影響調査-後ろ向き観察研究</p> <p>●研究の対象 2015年4月～2022年3月に当院で全身麻酔を受けられた方</p> <p>●研究の目的 全身麻酔の際は人工呼吸器を装着するため、口の中に管を挿入します。全身麻酔が終わった際は、目が覚めた後で速やかに管を抜きます。ただし、抜いた後も呼吸を確保するため、しっかり麻酔が覚めてから管を抜く必要があります。このため、およそ3割の方が管を抜くときのことを覚えている、といわれています。</p> <p>2020年に発売された新しい麻酔薬では、しっかり麻酔が覚めた後にどのように記憶が残るのが明らかになっておりません。このため、新しい麻酔薬で手術を受けられた方(2010年10月以降)と、従来の麻酔薬で手術を受けられた方で、管を抜く時の記憶の残り方に差があるかを調べます。</p> <p>●研究の期間 2015年4月から2022年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関である浜松医科大学へのデータの提供は、記憶媒体（DVDなど）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当施設の研究責任者が保管・管理します。</p>
利用し、又は提供	●研究に使用する試料・情報：

医学系研究に関する情報公開文書

する試料・情報の項目	情報：病歴、治療歴、抜管時の記憶の有無、カルテ番号 等
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 すずかけセントラル病院 麻酔科 佐藤恒久 および浜松医科大学 麻酔・蘇生学講座
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 すずかけセントラル病院 麻酔科 佐藤恒久
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話でお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒432-8054 浜松市南区田尻町 120-1 すずかけセントラル病院 診療科：麻酔科 担当者：佐藤 恒久 TEL：053-443-0111 FAX：053-443-0112